

TOWN TOPICS

まちの話題

市民の翼 ～中学生をアメリカへ派遣～

7月30日から8月6日までの8日間、市長を団長として、市内の中学生10人がアメリカ合衆国へ派遣されました。

一行は二本松市出身の世界的歴史学者・朝河貫一博士の足跡を訪ね、朝河博士が学んだ Dartmouth University や Yale University、友好都市であるハノーバー町などを訪問し、博士の功績について学習するとともに、ホームステイをするなどして、現地の市民と触れ合い、国際交流を肌で体験してきました。



LED体験教室

7月24日、市民交流センターで、夏休み子ども教室として「LED体験教室」が開催されました。

科学に関心をもってもらおうと同センターが企画したもので、材料の提供や工具の準備、指導などは市内宮戸工業団地で操業している福島サンケン(株)に全面的に協力をいただきました。

市内外の小学5・6年生とその保護者ら約50人が参加し、スライドなどでLEDの仕組みを学んだ後、LEDを使った工作に挑戦しました。

児童たちは、はんだ付けなど慣れない作業に戸惑いながらも、保護者と一緒にライトを完成させ、楽しい夏休みの思い出をつくっていました。



▲完成したLEDライトを持って



▲間違わないようにはんだ付け



▲ここはどうやるんですか？

岩代ふるさと探検隊「名目津温泉を探検」

岩代公民館主催のふるさと探検隊は7月29日から1泊2日の日程で開かれ、岩代地域の3小学校から21人が参加しました。

日程の中に名目津温泉周辺の探検もあり、蚊やブヨに刺された手足の傷を温泉でいやしました。

名目津温泉はおかげさまをもちましてオープン時より多数来場いただき、7月は27日間の営業で、延べ2,949人の方の利用がありました。



あら不思議、虫さされのかゆみがなくなりました

少年隊顕彰祭・墓前祭 ふくしま「城」フェスタin二本松

7月28日に行われた顕彰祭では、二本松北、岳下、二本松南小児童による剣舞や舞踊などが演じられたほか、「城」フェスタの一環として、会津キャンペーンクルーによる白虎隊の剣舞が披露されました。

墓前祭は少年隊の命日にあたる29日、大隣寺において開催され、少年隊戦死者16人の冥福を祈り、二本松少年隊作品コンクールの表彰および最優秀作品の発表などが行われました。

▼二本松北小児童による剣舞



▲会津キャンペーンクルーによる白虎隊と岳下小児童

▼いにしえ灯火回廊



同じく28日、29日に、県城下町連絡協議会の主催で開催された第1回ふくしま「城」フェスタは、霞ヶ城公園と男女共生センターを会場に「丹羽家十八代当主丹羽長聰氏による講演」、「会津美里町ふれあい茶会」や「相馬外天会の砲術披露」などさまざまな催しが行われました。

28日夜には、廃油を活用して製作したろうそくを箕輪門周辺に配置した「いにしえ灯火(ともしび)回廊」や少年隊士の名を記した「灯籠流し」などが行われ、会場を訪れた方は、幻想的な世界を堪能していました。

宝くじ助成で 祭り備品等を整備



平成22年度の一般コミュニティ助成事業(宝くじ助成)を活用し、薬師堂行政区では地域の夏祭りで使用される「やぐら」「太鼓」等の整備を行いました。



市推奨作物「小玉スイカ」出荷

市が平成20年度より推奨し、新ふるさと農村おこし推進事業により苗木等の購入助成を行っている小玉スイカについて、みちのく安達農業協同組合の高宮常務理事、安斎宮農課長より、三保市長に今年の作況および出荷状況についての報告がありました。

作況および出荷状況は、好天が続くなか順調だったとのことで、猛暑と相まって関西市場(大阪、京都)、福島市場などで好評を博していたとのことです。

なお、当市の今年の作付面積は、44.5アール、栽培者数は17人となっています。



ブックスタート事業 ～8月より～

絵本を開き、親子が心ふれあう楽しいひとときを持つきっかけ作りを行うブックスタート事業が始まりました。

4カ月児健診の会場で、健診の最後にスタッフが読み聞かせを行い、絵本が入ったスタートパックをお渡しします。

＜スタートパックの中味＞

絵本2冊、コットンバッグ、イラストアドバイス集、図書館利用案内チラシ等



▲ボランティアスタッフによる読み聞かせ